

日本顎顔面インプラント学会認定専門医
研 修 手 帳

2016年4月版

公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会

目次

1. はじめに 2
2. 目的と使用方法 4
3. 研修目標と評価方法 7
4. 学習方略 (Learning Strategy) について . . . 9
5. 評価表 11
6. 症例の記録 19
7. 学会発表 22
8. 研究論文 25
9. 付録 日本顎顔面インプラント学会認定専門医研修届

1. はじめに

本研修カリキュラムは、公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会
専門医取得に必要な研修プログラムである。 本学会専門医受験に
際しては、学会が認定した研修施設において本研修カリキュラムに則り、
学会が定めた期間の研修を終えた者が申請できる。

本学会の定款第 3 条に定めるように、口腔顎顔面領域におけるイン
プラントに関する基礎的並びに臨床的研究を推進し、この領域における
口腔顎顔面外科を基盤とした正しいインプラントの知識と国民から信頼
される良質なインプラント治療の普及を図り、もって我が国の学術の
発展と口腔機能の回復による国民の健康増進に寄与するための専門医の
育成を目指すものである。

2016年4月

公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会
理事長 瀬戸暁一

2. 目的と使用方法

I. 目的と使用方法

研修手帳は自己研修を目的としたもので、ここに記録する症例は自分が経験したインプラントの全症例である。

研修手帳の最後に示した「研修目標と評価表」は年に数回その全項目を見渡し、自己評価を試みるだけでなく、指導者の評価も受け、研修の不足している箇所を確認し補足してほしい。学会発表や研究論文などはその都度記録しておくことが望ましい。

日本顎顔面インプラント学会認定専門医試験の際に、研修実績および症例記録として本研修手帳の提出を求める。

II. 研修手帳の構成と記入法

1. 研修手帳の構成

本手帳は以下のものから構成されている。

- 1) 学習方略 (Learning Strategy)
- 2) 症例の記録
- 3) 学会発表
- 4) 研究論文
- 5) 研修目標と評価表

2. 記入法

1) 症例の記録

各自が経験した症例について症例番号、日付、年齢、欠損部位、埋入方法・本数、インプラント治療に伴う外科処置、補綴方法について記載する。

2) 学会発表・研究論文

各自が行ったインプラント治療に関する学会発表および研究論文を記載する。

Ⅲ. 一般目標 (GIO : General Instructional Objective) とは, その教育により期待される成果を指す.

日本顎顔面インプラント学会認定専門医研修の GIO は, 「日本顎顔面インプラント学会認定専門医として適切な医療を行うために, インプラント治療に必要な知識, 技能, 態度を身につける」こと, とする.

行動目標 (SBOs : Specific Behavioral Objectives) とは, 観察可能な具体的行動, すなわち動作を伴う態度や技能だけでなく, 暗記し, 理解し, 応用するなど, 知識の領域も含まれる目標である. 行動目標の細目は方略を念頭において, Basic, Advance に分けてある. Basic の項目は研修 1 年目の早い時期に履修し, Advance の項目を 2 年目にかけて履修, 3 年目でさらに経験を積む, というステップが想定されている.

評価 (Evaluation) : 一般に GIO の評価は, SBOs が満足すべきレベルに達成されたかどうかを評価することによって行われる. 日本顎顔面インプラント学会認定専門医の総括的評価は, 日本顎顔面インプラント学会による専門医試験で行われる.

形成的評価 : 学習者にフィードバックすることにより学習形成過程の改善を目的とするものである. 評点は学習者への勧告のみとし, 正式記録には含めない. 方法は各研修施設に一任されている. 評価方法には, 論述試験, 口頭試験, 客観試験, シミュレーションテスト, 実地試験, 観察記録 (指導者側が学習者を観察して記録に留め判定資料とする), レポートなどがある. 細目評価表にある研修指導評価は, 各研修施設でこれらのいずれかの方法にて行うこととする.

3. 研修目標と評価方法

研修目標と評価方法

一般目標（GIO）

日本顎顔面インプラント学会認定専門医として適切な医療を行なうために必要な知識，技能，態度を身につける。

評価について

評価は a：十分できる，b：できる，c：要努力の3段階とする。

前年度の評価よりも上の評価になれば追加して○をして良い。
（最終判定は最も上のものとする）

専門医受験のためには，研修施設の指導責任者の最終評価が全てb以上であることが求められる。

研修施設の指導責任者による最終評価欄への直筆署名をもって，専門医受験申請のための研修修了証明書とする。

4. 学習方略 (Learning Strategy) について

学習方略（Learning Strategy）について

技能や態度に関することは、主に指導医の管理の下に業務を行うことによる。

知識に関することは、自ら学習する。

カリキュラムの詳細については、各研修施設に一任されるが、以下に研修内容の概要と必要な期間について示す。研修期間は5年間とする。

1. 研修1年目

インプラント治療の業務管理、インプラント治療を通じた社会的貢献に関する基礎を学ぶ。

インプラント治療に必要な基本的事項を学ぶ。

治療計画の立案に関して知っておくべき基本的事項を学ぶ。

2. 研修2年目

インプラント治療を実施する。

インプラント治療の運営に関して知っておくべき基本的事項を学ぶ。

3. 研修3年目以降

インプラント治療を行い、経験を積む。インプラント治療の外科手技、補綴手技の実習を行い、日本顎顔面インプラント学会認定専門医として必要な基本事項を学ぶ。

5. 評価表

研修指導責任者 最終評価表（研修修了証明書）

I. インプラント治療の業務管理に関する項目

最終評価	研修終了年月日	研修施設名	研修指導責任者氏名（直筆署名）
a・b・c			

II. インプラント治療の診療実施に関する項目

最終評価	研修終了年月日	研修施設名	研修指導責任者氏名（直筆署名）
a・b・c			

III. インプラント治療を通じた社会的貢献に関する項目

最終評価	研修終了年月日	研修施設名	研修指導責任者氏名（直筆署名）
a・b・c			

行動目標 (SBOs)

I. インプラント治療の業務管理に関して

自己評価	研修指導医 評価
------	-------------

1. インプラント治療に関連する法および制度を説明できる。

Basic		
(1) インプラント治療に関わる法的事項を指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント治療の適応について指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c
(3) インプラント専門医制度の基本を述べ、その社会的役割を指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c

2. インプラント治療に関連する医療倫理について説明し、順守できる。

Basic		
(1) インプラント治療に関わる倫理的事項を指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) ヘルシンキ宣言の概略を指導医に説明し、順守できる。	a・b・c	a・b・c

3. インプラント治療に関連する医療安全について説明し、対策を実施できる。

1) インプラント治療に関連する医療安全の基本について説明できる。

Basic		
(1) インプラント治療の安全管理について指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント治療に関する医療安全対策について、指導医の指導下に管理し実施できる。	a・b・c	a・b・c

2) インプラント治療に関連するリスクマネジメントについて説明できる。

Basic		
(1) リスクマネジメントの基本について述べるができる。	a・b・c	a・b・c
(1) インプラント治療のインシデント・アクシデント報告の方法について説明し、実施できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント治療に関連して発生する可能性のあるインシデント・アクシデントについて 列挙し、必要な予防対策を指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c
(1) 医療法上の責任に関わる場合のリスクマネジメントの考え方を指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c

自己評価	研修指導医 評価
------	-------------

4. インプラント診療に関連する保険医療，医療経済について説明できる。

Basic		
(1) 医療経済の知識を有し，インプラント治療の費用対効果の評価に関する原則を指導医に説明できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント治療に関連する医療保険適用症例に関して述べる事ができる。	a・b・c	a・b・c

II. インプラント治療の診療実施に関して

1. インプラント治療の基礎を理解している。

1) インプラント治療に関わる解剖，生理機構を理解している。

Basic		
(1) インプラント治療に関わる頭頸部領域の解剖を理解している。	a・b・c	a・b・c
(2) 歯周組織，インプラント周囲組織の解剖を理解している。	a・b・c	a・b・c
(3) 歯周組織，インプラント周囲組織の生理機構を理解している。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 顎顔面の顎骨の特徴を理解している。	a・b・c	a・b・c
(2) 咬合，顎運動，咀嚼の生理機構を理解している。	a・b・c	a・b・c

2) インプラント治療に関わる理工学的知識を習得している。

Basic		
(1) インプラント体材料に必要な特性を理解している。	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント上部構造に必要な特性を理解している。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント体の表面性状について理解している。	a・b・c	a・b・c

2. インプラント治療の準備ができる。

1) インプラント機材の準備ができる。

Basic		
(1) インプラントの使用機材についてとそれぞれの特徴と用途を述べる事ができる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラントの種類とそれぞれの特徴を述べる事ができる。	a・b・c	a・b・c

自己評価	研修指導医 評価
------	-------------

2) 臨床検査を行い、その結果を説明できる。

Basic		
(1) 一般的な術前検査を行い、その結果を患者さんに説明できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 金属アレルギー検査を行い、その結果を患者さんに説明できる。	a・b・c	a・b・c
(2) 薬物アレルギー検査を行い、その結果を患者さんに説明できる。	a・b・c	a・b・c

3) インプラント治療のための診察と検査ができる。

Basic		
(1) 医療面接ができる。	a・b・c	a・b・c
(2) 歯列の検査ができる。	a・b・c	a・b・c
(3) 歯周組織の検査ができる。	a・b・c	a・b・c
(4) デンタルX線検査、パノラマX線検査を行い、その結果を患者さんに説明できる。	a・b・c	a・b・c
(5) CT検査の結果を評価し、患者さんに説明できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 咬合器上で模型診断ができる。	a・b・c	a・b・c
(2) 診断用ワックスアップを用いて補綴診断ができる。	a・b・c	a・b・c
(3) 手術用テンプレートが作製できる。	a・b・c	a・b・c

4) インプラント治療の準備が実践できる。

Basic		
(1) インプラント治療の流れを述べることができる。	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント治療前の口腔衛生指導、プラークコントロールができる。	a・b・c	a・b・c
(3) インプラント治療に必要な臨床検査を説明できる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント治療に関わる全身疾患を研修指導者に説明できる。	a・b・c	a・b・c
(2) 全身疾患に関して内科医と連携がとれる。	a・b・c	a・b・c
(3) 適切な禁煙指導ができる。	a・b・c	a・b・c
(4) 適切な栄養指導ができる。	a・b・c	a・b・c

自己評価	研修指導医 評価
------	-------------

3. インプラント手術が実践できる.

1) インプラント治療に関わる手術ができる.

Basic		
(1) ガウンテクニック, ドレーピングができる.	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント手術の介助ができる.	a・b・c	a・b・c
(3) インプラントの1次手術について説明できる.	a・b・c	a・b・c
(4) インプラントの2次手術について説明できる.	a・b・c	a・b・c
(5) インプラント治療に関わる歯周組織の硬組織・軟組織の再建手術について説明できる.	a・b・c	a・b・c
(6) インプラント治療に関わる頭頸部領域の硬組織・軟組織の再建手術について説明できる.	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラントの1次手術ができる.	a・b・c	a・b・c
(2) インプラントの2次手術ができる.	a・b・c	a・b・c
(3) インプラント治療に関わる歯周組織の硬組織・軟組織の再建手術ができる.	a・b・c	a・b・c
(4) インプラント治療に関わる頭頸部領域の硬組織・軟組織の再建手術ができる.	a・b・c	a・b・c

2) インプラント治療に関わる全身管理の知識, 技術を習得している.

Basic		
(1) BLS, もしくはACLSを受講し, 資格を取得している.	a・b・c	a・b・c
(2) 術後の全身管理ができる.	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 気管切開ができる.	a・b・c	a・b・c

4. インプラント補綴が実践できる.

1) インプラント治療に関わる補綴治療ができる

Basic		
(1) 補綴治療の手順, 問題点が研修指導者に説明できる.	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 適切な上部構造様式の選択ができる.	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント補綴の咬合管理ができる.	a・b・c	a・b・c

自己評価	研修指導医 評価
------	-------------

5. インプラント治療後の管理が実践できる.

1) インプラント治療に関わるメンテナンス, 歯周管理ができる.

Basic		
(1) 国際インプラント手帳について理解し作成できる.	a・b・c	a・b・c
(2) 術後の口腔衛生指導ができる.	a・b・c	a・b・c
(3) インプラントのメンテナンスが実践できる.	a・b・c	a・b・c
(4) インプラント荷重後のエックス線検査ができる.	a・b・c	a・b・c
(5) インプラントの異常所見を述べる事ができる.	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント周囲炎の管理ができる.	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント周囲粘膜炎が管理できる.	a・b・c	a・b・c

2) インプラント治療のトラブルについて説明し, 対応できる.

Basic		
(1) インプラント治療に関わるトラブルについて研修指導者に説明できる.	a・b・c	a・b・c
(2) 他施設でのインプラント治療に関わるトラブル症例について, 対応方法を研修指導者に説明できる.	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント治療に関わるトラブルが発生した際に対応できる.	a・b・c	a・b・c

III. インプラント治療を通じた社会的貢献に関して

1. インプラント治療に関する教育に積極的に関与できる.

Basic		
(1) 学生, 臨床研修医に対するインプラント学の教育を補助できる.	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 学生の指導ができる. (大学病院での研修の場合)	a・b・c	a・b・c
(2) 卒後臨床研修医の指導ができる.	a・b・c	a・b・c
(3) 後期研修医の指導ができる.	a・b・c	a・b・c
(4) 日本顎顔面インプラント学会専門医研修医の初期課程の指導を補助できる.	a・b・c	a・b・c

自己評価	研修指導医 評価
------	-------------

2. インプラント学に関する研究を行うことができる。

1) インプラント学に関する研究を行い，結果を報告できる。

Basic		
(1) インプラント学に関する研究方法を研修指導者に説明できる。	a・b・c	a・b・c
(2) 倫理面に配慮した研究材料の収集ができる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント学に関する研究計画を立てることができる。	a・b・c	a・b・c
(2) インプラント学に関する研究を実施し，結果をまとめることができる。	a・b・c	a・b・c
(3) 症例報告またはインプラント学に関する研究成果を学会で発表できる。	a・b・c	a・b・c
(4) 症例報告またはインプラント学に関する研究成果を論文としてまとめることができる。	a・b・c	a・b・c

2) インプラント学の研究における利益相反について説明し，適切に対処できる。

Basic		
(1) インプラント学に関する医学研究の指針・細目について理解し，利益相反について述べる ことができる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) インプラント学における研究の実施および発表において，利益相反の規制を順守し，利益 相反を適切に自己申告できる。	a・b・c	a・b・c

3) 学会，研修会，セミナーの参加について。

Basic		
(1) インプラント学に関する生涯学習について述べる ことができる。	a・b・c	a・b・c

Advance		
(1) 学会，研修会，セミナーに積極的に参加する。	a・b・c	a・b・c
(2) 各種セミナーを通じてインプラント学について学習し，各自の治療計画やコンサルテーション の内容などを自己評価し，患者の診療に役立てることができる。	a・b・c	a・b・c

6. 症例の記録

症例の記録

症例番号	日付 (西暦 年・月・日)	年齢	欠損部位	埋入方法・本数	インプラント治療に伴う 外科処置	補綴方法	備考
例	○年○月○日	○歳	6 ₇	2 回法・1 本	GBR (下顎枝から骨を採取し、吸 収性メンブレンを使用)	セメント固定	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

症例の記録

症例番号	日付 (西暦 年・月・日)	年齢	欠損部位	埋入方法・本数	インプラント治療に伴う 外科処置	補綴方法	備考
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							

7. 学会発表

学会発表

	演題名, 発表者名, 学会名 (開催地・年 月 日:西暦)
例	CTを用いた下顎臼歯部の解剖学的分析, 顎顔面 太郎, 第〇回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (東京・〇年〇月〇日)
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

学会発表

	演題名, 発表者名, 学会名 (開催地・年 月 日:西暦)
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

8. 研究論文

研究論文

	著者名（全員）：表題. 雑誌名 巻：始頁-終頁 発行年（西暦）.
例	〇〇〇〇, △△△, □□□: 荷重後にインプラントが脱落した8例の原因に関する臨床的検討. 顎顔面インプラント誌 〇: 〇〇-〇〇 〇〇〇〇.
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

研究論文

	著者名（全員）：表題. 雑誌名 巻：始頁-終頁 発行年（西暦）.
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

